

オスプレイ 矢臼別4機

来月訓練周辺4町、安全対策要請

防衛省と北海道防衛局は12日、12月5~9日に陸上自衛隊矢臼別演習場（根室管内別海町など3町）で行う日米共同訓練について、道内の訓練で使われる米軍の輸送機オスプレイは原則4機との見通しを示した。同演習場での訓練にオスプレイが参加するのは初めてで、周辺自治体には不安も広がる。別海町など4町の首長は12日、北海道防衛局を訪れ、安全対策と情報公開の徹底を要請した。

（小野田伝治郎、山田一輝）

日米共同訓練は矢臼別演習場と東北3県の計4演習場で行われ、訓練全体では過去最多となる計12機のオスプレイが使用される。

防衛省などによると、矢臼別演習場での訓練にはパラシュート降下訓練を行う

送訓練を行う米軍普天間飛行場（沖縄県）所属のMV

22が2機の計4機が参加する。

定した米空軍仕様のオスプレイで、道内で使われるのは初めて。参加機数は日米間の今後の調整の結果、増える可能性もある。同演習場での訓練には、米軍約60人が参加する見通し。

ただ米軍からの情報公開は少なく、防衛省もオスプレイの飛行経路や到着時間などの公開にこれまで消極的な態度をとっている。

矢臼別演習場がある別海町と釧路管内厚岸、浜中両町、周辺の同管内標茶町の4町長は12日、北海道防衛局の石倉三良局長に対し、夜間訓練の有無と飛行経路

反対談話発表

連合北海道は12日、米軍輸送機オスプレイが参加する日米共同訓練に反対し、

中止を求める藤盛敏弘事務局長談話を発表した。訓練実施は①ロシアを刺激し、北方領土問題解決を後退させ②オスプレイの騒音が酪農業への影響など道民生活に多大な被害をもたらす

要請後、別海町の曾根興三町長は「4町としては、オスプレイを受け入れたくない気持ちはある。地域住民に配慮した態勢を取ってほしい」と伝えた」と記者団に強調。石倉局長は米軍に

矢臼別演習場でのオスプレイの訓練に關し、北海道防衛局の石倉三良局長（手前左）に安全対策の徹底などを要請する別海町の曾根興三町長（右から2人目）ら



要請内容を伝え、対応を求める考え方を示したという。

ただ別海町の酪農家森高哲夫さん（70）は「騒音で搾乳中の牛が驚いて暴れたら人間も危ない。オスプレイには来てほしくない」。厚岸町の演習場近くの牧場で働く女性（58）も「落ちる可能性がある機体だと聞いていて不安だ。いつから今まで飛ぶのか、時間とルートをはっきり伝えてほしい」と求めた。

連合北海道が

連合北海道は12日、米軍輸送機オスプレイが参加する日米共同訓練に反対し、中止を求める藤盛敏弘事務局長談話を発表した。訓練実施は①ロシアを刺激し、北方領土問題解決を後退させ②オスプレイの騒音が酪農業への影響など道民生活に多大な被害をもたらす

こととしている。